

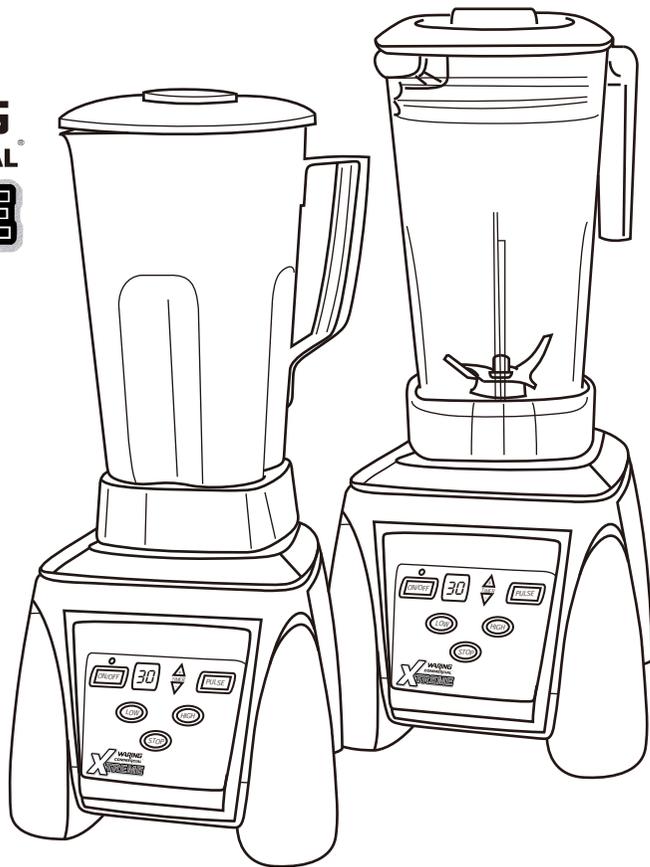
WARING COMMERCIAL[®]

Hi-Power BLENDER

MX1200XT/XTS

取扱説明書

X WARING
COMMERCIAL[®]
XTREME



OSAKA CHEMICAL CO.,LTD.

Waring Hi-Power Blender

エキストリーム

この度は WARING 社 Hi-Power Blender エキストリームをご購入頂き、誠にありがとうございました。本機は実験、研究用の強力な高速粉碎機です。本機を正しく事故のないようお使い頂く為に、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読み下さいますようお願い致します。

図 -A

[エキストリーム 各部名称]

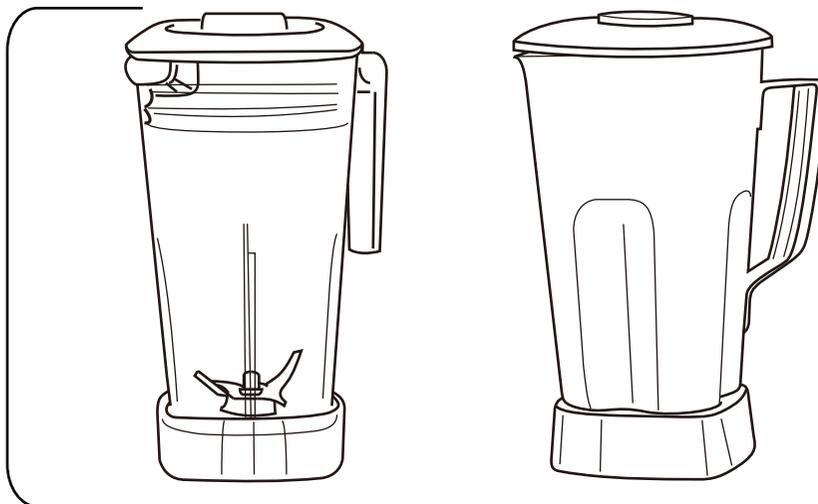
MX1200XT の場合

① 2L ポリカーボネイト容器

MX1200XTS の場合

② 2L SUS 容器

A
容器
セット



B
パワ
ーユ
ニッ
ト

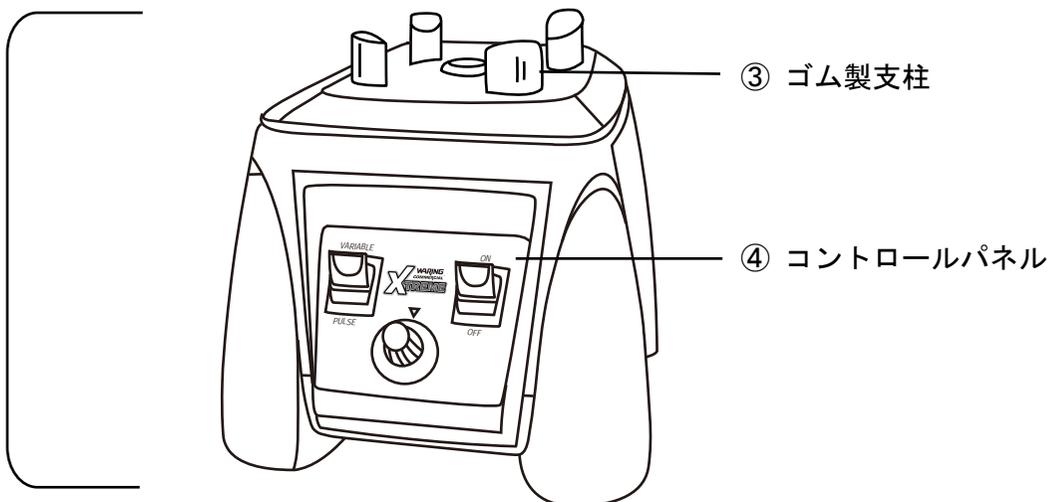


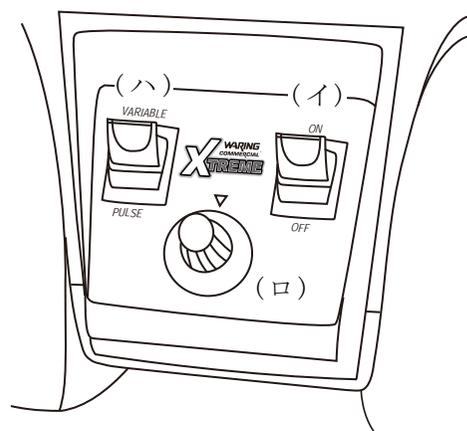
図 -B

[コントロールパネル]

(イ) ON/OFF メインスイッチ

(ロ) スピードコントロールダイヤル

(ハ) VARIABLE/PULSE スイッチ



操作

1. 図-Bよりメインスイッチのスイッチ(イ)がOFFの位置にあるのを確認して下さい。
もしスイッチがONの位置にあるのなら、OFFの位置に戻しておいて下さい。
2. スピードコントロールダイヤル(ロ)の1の数字を▼印の所に戻しておいて下さい。
3. 図-Aより容器セット(A) (①か②)をパワーユニット(B)から外して下さい。そして容器セットの容器フタを外します。
4. 容器に試料を入れて下さい。液状の試料の場合、容器の「MAX FILL LINE」が最大処理量になりますが、乾燥物の場合は容器の3分の1から4分の1程度が最大処理量になります。
5. 試料を入れ終わったら、容器フタをセットし、しっかりと締めて下さい。
6. セットし終えた容器セットをパワーユニットの4つのゴム製支柱⑥にきっちりとベースの4つの切り込み溝が全て入るようにセットして下さい。
7. パワーユニットに容器セットがセットし終わったら、電源コードのプラグを100Vのコンセントに差し込んで下さい。(その際必ずアースをお取り下さい。)
8. コントロールパネル④のON/OFFメインスイッチ(イ)をONにして稼働します。スピード調節ダイヤル(ロ)を1から徐々に上げていき希望の速度で粉碎して下さい。
9. 試料を瞬時に粉碎したり、ダイヤル10まで回転速度を上げて粉碎したが、物足りない場合はVARIABLE/PULSEスイッチ(ハ)を下に押すと最高速度の24,000rpmが得られ試料の粒度をより細かく、また粉碎速度を速めます。
10. 機械の作動中は容器フタに軽く手を添えて下さい。粉碎中の状況が手のひらを通して伝わってきます。
11. 粉碎作業が終わったら、メインスイッチをOFFにして機械をストップします。
12. 機械が完全に止まったら、コンセントから電源コードのプラグを外します。そしてパワーユニットから容器セットを取り外します。
13. 容器セットの容器フタを外し、容器の中の粉碎された試料を適当な器に移し替えて下さい。

容器のお手入れ

使用後の洗滌

エキストリームを使用した後は、下記の手順で使用容器を洗滌して下さい。

- I. 予備洗浄（水又は温水を使って、残った試料を洗い流す。）
- II. 洗剤洗浄（洗い流し洗浄の後、家庭用中性洗剤を入れて機械で高速回転させて洗浄する。）
- III. すすぎ洗浄（水又は温水を使って、機械を高速回転させて洗浄成分をすすぎ切ります。）
- IV. 乾燥（排水後、機械を2秒ほど高速回転させてカッターアセンブリを乾燥させる。）

I. 予備洗浄

1. 本体より容器を取り外して下さい。
2. 水又は温水を流しながら、容器内部、容器フタを洗浄して残った試料のカスを流し切して下さい。

II. 洗剤洗浄

1. 容器に容器容量の半分程度の水を入れ、その中に家庭用中性洗剤を2～3滴入れて下さい。
2. 容器に容器フタをきっちりとセットして下さい。
3. 容器を本体にセットして、1分間「PULSE」でカッターを回して下さい。
4. 容器を本体から外し、洗浄した水を捨てて、容器を空にして下さい。

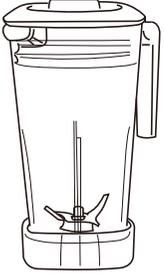
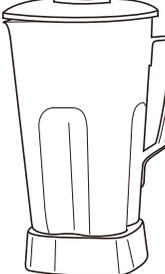
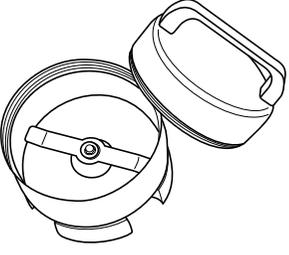
III. すすぎ洗浄

1. 空になった洗剤洗浄済みの容器の中に、きれいな水を容器容量の半分程度入れて下さい。
2. 容器フタを容器にセットして下さい。
3. 容器を本体にセットして、1分間「PULSE」でカッターを回して、洗剤成分をすすぎ洗いして下さい。
4. 容器を本体から外し、すすぎ洗いした水を捨てて、容器内を空にして下さい。
5. 再度、容器に水又は温水を容器の「MAX FILL LINE」まで入れ、カッターを回してすすぎ洗いして下さい。
6. 上記のすすぎ洗いをしていても洗剤成分が残っている場合は、流水で十分に洗い流して下さい。

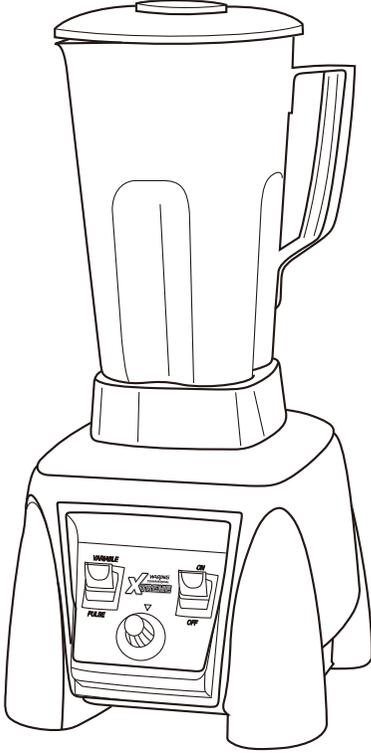
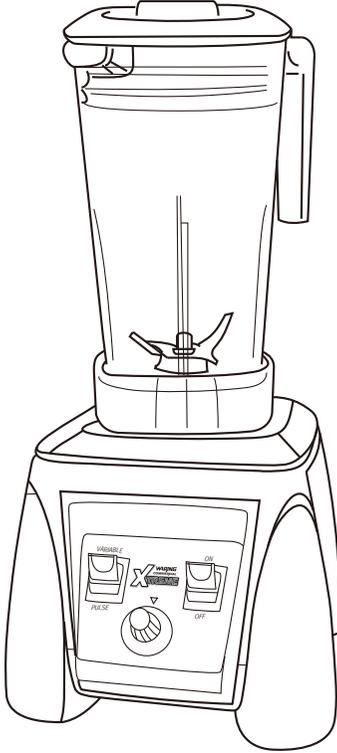
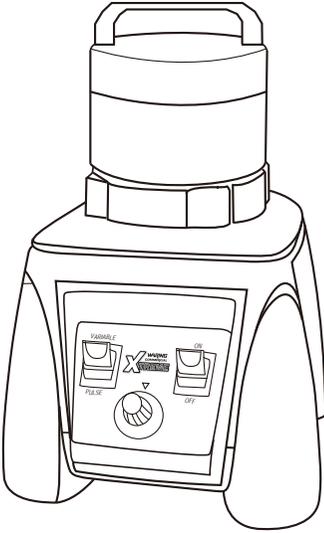
IV. 乾燥

1. 排水後、空の容器を本体にセットして下さい。
2. 2秒程度「PULSE」でカッターを回して、カッターアセンブリ部分の水分を取り除いて下さい。
3. 容器、容器フタは水分を十分に切り、きれいな乾いた布で水気を拭き取り、完全に自然乾燥させて下さい。

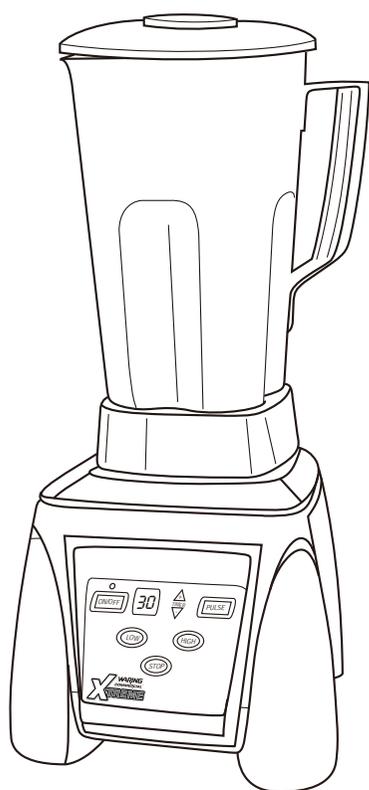
交換部品表

		
<p>2L ポリカ容器 (カッター組込)</p>	<p>2L SUS 容器 (カッター組込)</p>	<p>150mL SUS 容器セット</p>
<p>型番 : CAC95 ¥40,000</p>	<p>型番 : CAC90B ¥116,000</p>	<p>型番 : PN-K01 ¥80,000</p>

ワーキング エキストリームシリーズ バリアブルスピード

		
<p>MX1200XTS</p>	<p>MX1200XT</p>	<p>MX1200XTM</p>
<p>2L SUS 容器セットモデル</p>	<p>2L ポリカ容器セットモデル</p>	<p>150mL SUS 容器セットモデル</p>
<p>¥178,000</p>	<p>¥141,000</p>	<p>¥188,000</p>

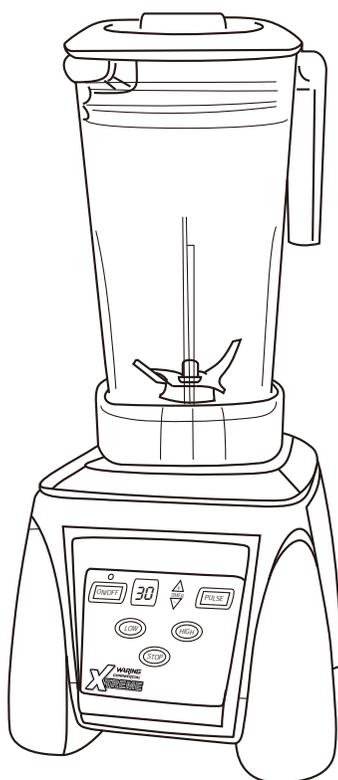
ワーリング エキストリームシリーズ タイマー機能付き



MX1100XTS

2L SUS 容器セットモデル

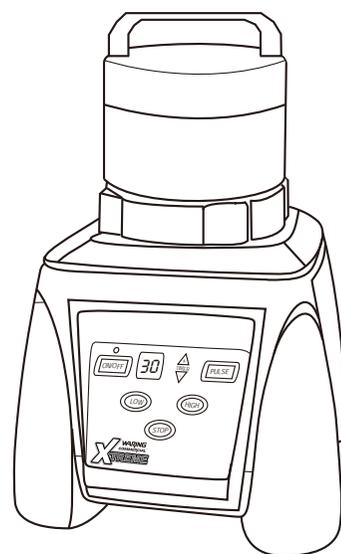
¥172,000



MX1100XT

2L ポリカ容器セットモデル

¥135,000



MX1100XTM

150mL SUS 容器セットモデル

¥177,000

注意事項

- 本機を操作する前に電源コードのプラグがコンセントに入っていない事を、本機のパワーユニット（この取説2ページ、図-B参照）のコントロールパネルのメインスイッチ（イ）がOFF（切）になっているか確認して下さい。もしメインスイッチの位置がOFFになっていないならメインスイッチをOFFの位置に直して下さい。
- 次にコントロールパネル下側のVARIABLE（スピード調整）ダイヤル（ロ）を1に戻しておいて下さい。
- 容器に試料を入れる場合、液状の試料は「MAX FILL LINE」まで、乾燥した試料は3分の1から4分の1程度が最大処理量となります。試料を入れすぎると効率的な粉碎ができないばかりか、機器に高負荷がかかり故障の原因となることがございますので、ご注意下さい。
- 非常に硬い鉱石や粘性の強い試料等のご使用は出来ません。
- 作動中は容器の上に手を添えて保持して下さい。手を通して粉碎状況が伝わってきます。
- 作動中は容器フタを絶対開けないで下さい。
- スwitchを入れると容器が異常な動きをする場合は、直ちにスイッチを切り、点検を行って下さい。（その際、本体のプラグをコンセントから外して行って下さい。）
- 作動中にカッターが動かなくなったら、直ちにスイッチをOFFにし、点検を行って下さい。試料の入れすぎや試料がカッターと容器の間に挟まっている等の場合、試料を減らしたり、カッターと容器の間に挟まった物を取り除いて下さい。（その際、本体のプラグをコンセントから外して行って下さい。）
- 感電の危険から身を守るために、モータユニットは水やその他の液体の中には入れないで下さい。
- 決して稼働部分に触れないで下さい。
- 屋外では使用しないで下さい。

安全装置（自動復帰）説明

本機エキストリームにはモーターの焼き付き故障を防ぐ為、安全装置が組み込まれています。強い負荷のかかる試料を入れたとき、カッターと容器の間に試料が挟まったり、分量が多すぎた場合等、モーターに過剰な負荷がかかった時には、過電流防止装置が働いてモーターが自動的に停止します。これは故障ではありませんので、次の作業手順に従って再スタートして下さい。

1. まず、コントロールパネル④のメインスイッチ（イ）をOFFにして下さい。
2. 次にコードプラグを電源コンセントから抜きます。
3. 容器セットをパワーユニットから取り外し、容器フタを外します。カッターと容器に挟まっている試料を取り除き分量が多い場合は分量を減らして下さい。
4. 15分程機械を休めます。その間この機械の自動復帰機能が働き、自動復帰します。通常通りご使用下さい。

○上記の注意事項を怠ったりしますと、事故につながったり、十分な試料作成が出来ない場合がありますので、必ず守って下さいますようお願い申し上げます。



ラボ用輸入機材専門メーカー

大阪ケミカル株式会社

〒530-0045

大阪府大阪市北区天神西町 5-17 アクティ南森町 2F

TEL 06-6311-1050 FAX 06-6311-1070

E-mail: info@daichem.co.jp

<http://www.daichem.co.jp>